

市長と語ろう住民懇談

第2回 テーマ「人口減少社会とこれからの三沢市」

日 時：平成 26 年 10 月 29 日(水)18：30～20：00

場 所：三沢市役所 4 階 大会議室

参加者：14名

1. 開会
2. 市長あいさつ
3. 出席者紹介

【三沢市】 種市市長

米田副市長、中西政策財政部長、宮古民生部長、小泉健康福祉部長、
大澤経済部長、中村教育部長

【参加者】 14名

職業：医師、歯科医師、薬剤師、弁護士、公認会計士、税理士
一級建築士、社会保険労務士



4. 懇談

① 健康まつりのようなイベント開催について	
参加者	短命県返上のために、三沢市においても市民全体で参加できるような健康づくりの場「健康まつり」のような事業を、行政主体でやっていただけないかなという提案をします。
市長	市でも様々な取り組みをしていますが、担当部長から紹介してもらいましょう。
健康福祉部長	平成2年頃から平成16年まで「産業と文化まつり」に平行して、健康展という健康まつりのようなことを実施しておりました。それ以降は確かに実施しておりません。 そこで、実は今年度、11月22日に「三沢健康フェア」ということで、講演会の他に、血圧測定や姿勢測定、血管年齢測定、歯や健康チェック、心の健康キャンペーン、こういったことも企画しております。 今後、このような企画を実施していきたいと考えております。
市長	無料のがん検診など様々実施していますが、肝心の受診率がなかなか上がらないということもあります。受診率を高める何かよい方法があればと思います。

② 若年者に新築補助金の増額や民間賃貸住宅入居者への補助制度について	
参加者	三沢の場合は、八戸から30分以内の地域で、飛行場がある、そして八戸駅もあるということで、他の都市から見ればずっと恵まれています。 少子化対策と定住化は表裏一体の関係ですので、若い方々が三沢に住むように、例えば、現在三沢でも新築の建物を建てると助成金制度があるということですが、40歳以下の方であればプラス50万とか100万とか、そういう形で思い切ったことができないでしょうか。 それから、私が前にウェナッチに行った時に、小さな都市でも技術者が地域に惚れ込んで外からの人がどんどんやって来ていますので、三沢もそういう形で外からの人の流入を図るような策も考えていただけないかと思います。 市営住宅はどうしても資金的なものも掛かるでしょうから、結構今三沢米軍基地の関係で、賃貸アパートが空いているということですので、若い方が借りるのであれば一律の助成金を1万でも2万でも出すという

	<p>形にすればと。やはり若い方が子供を育てる、子供2人目、3人目を持つとなると、子供を育てる費用、教育費用が掛かるものですから、そういう面についての市の考えを聞かせていただければと思います。</p>
市長	<p>今、三沢でも、若者に対してではありませんが、リフォームすると20万、新築すると50万の助成をしていますが、定住化のための様々な条件があると思います。教育行政とか老人福祉対策とか、インフルエンザの問題とか。おっしゃるようなアクセスの問題。</p> <p>三沢の場合は土地がちょっと高いこともあるので、宅地造成もやりましたが、上下水道完備で6万円以下でありましたので、非常に好評で完売に近い状況です。</p> <p>内容を見ますと、結構他の自治体から十何人かお買い求めされたようでありまして、そういう点では非常に効果があったのではないかと考えております。若者に対する特化というようなことを考えればもっと良いのかなと考えております。</p> <p>子育ての問題については、「わんぱく米」ということで地産地消、3人以上の子供にはお米を60kg提供することも行っておりますけれども、これは結構好評で、三沢に家を建てるとお米をもらえるのだというような話がありまして、非常に嬉しかったです。それも一つ役に立っているのかなというような気がしております。</p> <p>働く場として、企業の誘致などは、もう当然の話であります。そういう若者をどう集めるか、あるいは子育て環境を整えるか、その辺が非常に大きな課題になるのかなという気がしております。今のお話のように若者に特化した対策をするのが良いなと思えました。</p>

③ 若い人の定住のための働く場を作る方策について	
参加者	<p>今のお話、ごもっともと思って聞いていたのですが、高齢化率が低くて子供が多いという話は確かなのですが、確かに自衛隊や原燃関係とか転勤族の方が多くて、実際に三沢市にその人達がずっと定住して子孫を増やしていくかということとそうではないわけで、いかに三沢市の人口を増やしていくかということを考えると、やはり三沢市に根を下ろして住んでもらうことが大事だと思います。</p> <p>そうなるやはり仕事ですよね。職場がなければやっぱり若い人達はそこに居つかないわけですから、企業誘致もそうですけれども、企業だ</p>

	けじゃなくて福祉でもなんでもいいですけども、何かしらそういう職場を作るといことが大事だと思います。市の方でも企業誘致をされているでしょうけれども、何かしら打開策があれば、是非頑張ってくださいなと考えております。
市長	今の雇用関係について、ややもすると企業誘致という言葉になりますけれども、今のご意見みたいに福祉の問題とか様々、それも雇用の場が大きいわけですから、そういうのも大事ですね。

④ 夜間の保育整備について	
参加者	<p>安倍政権も女性の仕事の向上力を上げるということで、非常にいろいろな政策を出していると思うのですが、結婚とか出産の多い県というのは、非常に女性の仕事力が高い県だと言われていると思います。そちらもまた長い目で見れば少子高齢化対策に非常に繋がるということで、ただ、医療の現場でも結婚や出産を転機に離職をするという方が非常に多いのが現状であります。</p> <p>現場の声を聞いてみますと、やはり保育の整備をして欲しいという声が聞こえてきて、特に、三沢エリアで言いますと可能であれば夜間の保育所を整備していただければ、安心して結婚・出産に繋がるのではないかとこの声も聞こえたので、可能であればその辺もご検討いただければと思っておりました。</p>
健康福祉部長	<p>実は、夜間保育については、市立病院の中の保育所ではやっておりますが、それ以外については、夜間保育は実施されておられません。</p> <p>ただ、一時預かりなどの事業は実施しておりますが、年齢が制限されておりますが、概ね1歳以上とか1歳6ヶ月以上とかということで新生児についてはまだ実施されていないという状況でございます。今後、検討したいと思っております</p>
市長	夜間保育、やっぱりあった方がいいですね。

⑤ 高齢者まで途切れない歯科保健事業実施について

参加者	<p>先程市長さんからもお話がありましたように、人口減ということに関して言えば、やはりこれは日本全国を見ても全体の人口が減ってきている状況であります。そして、青森県の人口もかつては 150 数万を数えた人口が、今は 130 万を切るという状況になってきているということで、やはり、少ない人達をいかに健康に育てていけるかということ、我々歯科としては考えております。</p> <p>その意味で、できれば三沢市に居住した方々は、40 歳を過ぎても高齢になるまで網目が途切れないような保健事業を展開して頂ければ非常にありがたい。と申しますのは、今、日本の国の中で赤ちゃんからだいたい 18 歳までは歯科保健が充実しております。それは高校を卒業するまで、大学を卒業、あるいは大学に入ってからほとんど無い。ただ、三沢市の場合は一応、40 歳の所で区切りをつけていただいて保健事業を展開するとなっておりますが、それをもう少しきめ細かく、そして 60 歳になった時にこれから老いを迎える前にいざ自分の口の中の状態、あるいは一般医科の方でもそうですが、自分の健康状態はどうなっているのかということをチェックする機会を設けていただければ非常にありがたいと思います。それによって、必ず将来的には市の財政に関しては負担を軽減する形に働くと考えております。ですから、予防を行うということは決して市の財政を逼迫させることには繋がりませんので、何とか、市長さんをはじめ、皆様方のご協力をいただければと考えております。</p>
市長	<p>大変ありがたい。やっぱり、病死も人口減少になりますからね。</p> <p>いろいろと真正面から見る傾向がありますが、いろいろ掘り下げて考えなければいけませんね。よくわかりました。</p>

⑥ 借り手のない貸家を市が購入し市外からの転居者に貸してはどうか。

参加者	<p>税理士の仕事をしていて、思ったことがあるのですが、ここ数年、確定申告の時期になりますと、不動産の賃貸をしている個人の方が、前は入居者が入って良かったが、最近は空いたらもう入らない、貸家を建てた際の借金を返していくのも大変だという状況なのです。例えばそれを市で買い上げて、市外から転居してくる方に安く貸してあげるというのは無理なのでしょうか。よく、ニュースなどで、土地を無料で譲渡しますので、県内、市内に転居してくださいという事例も聞きます。</p>
-----	---

⑦ 市内の観光施設への集客について

参加者	<p>私、先週休みの日に初めて航空科学館と道の駅三沢に、子供を連れて行ってきたのですが、すごく楽しかったですね。ゴーカートに乗れたり、ポニーに乗れたりして。ただ、そんなに楽しいところだと思ったのですが、人がそんなにいない。なぜかなあと思い、他の人に聞いてみたのですが「行ったことある？」という風に。そしたら、知っているけど行ったことがないと言っていたので、やっぱり一回なんとか行ってもらって楽しさを体験してもらえれば、それがまた他の人に伝わって行って、三沢の人を呼び込めるのではないかなと思いました。</p>
市長	<p>確かに。結構楽しめる場所なのですけどね。ちょっと遠いので、行かなかったりするのですね。</p>

⑧ 地域資源を啓もうする活動として三沢検定実施について

参加者	<p>三沢を魅力的にし、外からの人に住んでもらうようにするためには、三沢の老若男女に三沢についてもっとよく知ってもらわなければならない。私もそうですけど、分かっているようで分からない。</p> <p>そこに今住んでいる方が、三沢はこんなに素晴らしいのだぞと、市民全員がPRするため、三沢検定を学校教育の中で徹底してやってもらうとか、その検定についても、観光協会や商工会とタイアップしてやる。冬になれば小川原湖のワカサギ釣りがあるし、スキー場が近い。夏は夏で、小川原湖のボート、サーフィン、それから太平洋岸があるし、山もあります。また、夜は夜でアメリカンバー、他にはないところがありますので、どんどん自分が観光大使の役目を果たすような形、それが地元を愛しているということですので、そういう考えを強く持つていくために三沢検定もひとつ考えていただければ良いのかなと思っていました。</p> <p>福島に行っても、三沢のハロウィンすごいですよねといわれました。向こうの方がむしろ知っているのですよね。三沢の地域の資源を啓蒙するような活動をしていただければよろしいかと思います。</p>
市長	<p>この検定は一時流行りましたね。青森県でも、青森とか弘前も取り入れているのではないかな。結構取り入れていますけれども、それもまた自然消滅したりして、いろいろな課題もあるようですね。</p> <p>PRの仕方として、一回体験させて、その良さというものを口コミでどんどん拡大していくようなこともあると思います。</p>

⑨ 市の玄関口などへのインフォメーション整備等について

<p>参加者</p>	<p>私、駅前です仕事をしております関係で、他の地域からいらした方の意見をちょっと聞くことがあるのです。</p> <p>これは数年前のことなのですが、午後に三沢に着かれた女性の方が寺山修司記念館に行きたいということで、どうしたら良いかと、周りの人に聞いて歩いているのですが、正確な情報を与えてあげる場所がないということがありました。</p> <p>ですから、いわゆる玄関口と言われるようなところに、インフォメーションを設けていただく。例えば空港であるとか、もうちょっと整備していただければ、少しは外からきた人達が三沢に関心を持っていただけるのかなということがあります。</p> <p>それから、東京に行きますと、各県のいわゆるアンテナショップというのがありますが、もちろん、単独の市でそれを展開するというのは大変な事だと思いますので、難しいかと思いますが、なんとかその青森県の中に三沢のブースを盛り込んだり、あるいは、インフォメーションを潜り込ませたりしていただければ、もう少し広まるのかなと思います。</p> <p>また、さっきもお話がありました、やはりハロウィンには、私の知り合いの子供さんやお孫さんも市外から来ています。仮装して三沢の中をまわる。非常に楽しみにしているのです。ただ、せっかく来たのに、それでただ帰ってしまったら、三沢には何もお金が落ちませんので、是非それをもう少し総合戦略として取り入れていただければいいようにすればと。三沢ほど行事が多いまちはないと思っていますので、是非よろしくお願ひしたいと思っています。</p>
<p>市長</p>	<p>三沢のPRの冊子を作っていますが、なかなかそれが徹底されていないということでしょうか。空港にはあるのだけれども、駅にもあるはずなのですがね。</p>
<p>参加者</p>	<p>はい。パンフレットは置いてあります。</p> <p>ただ、例えば駅の職員の方々も三沢の人じゃない方がいたりすると、聞いても分からない。ですから、もうちょっとパンフレットを置くところも分かりやすくとか、あるいはやはりパンフレットを置く時に、その周辺に働く人達にもう少し協力してもらおうように。その人達がもしかして三沢以外から来ていると、聞かれても「いいえ、知りません」で終わっちゃう。ですから、そういう事もなきにしもあらずですから。</p>
<p>市長</p>	<p>駅前開発を行う際に、そういうことを網羅したものになりたいと思いま</p>

	<p>すが、まだ少し時間がかかりますね。</p> <p>やはり、陸の玄関、あるいは空の玄関、そこでいろんな三沢のPRが出来るようにしなければ、なかなか徹底されないと思います。</p> <p>もちろん、さっき申し上げたような一回は体験するという何かイベントをやって、そしてそれがだんだん拡大していくような方法も一つの方法かなという気がしていますけどね。いずれにしても、大変ありがとうございました。</p>
--	---

⑩ 宅地造成について	
参加者	<p>私、建築の設計をやっておりますので、仕事柄今までのことを考えてみまして、ある市町村の方で、いろんな事情で土地を非常に安く提供するようになりまして、そこにももちろん、若い方が住宅を建てているのも一つなのですが、私のお客さんで貸家を建てて、そこに住所を新たに持ってくると、町の方から補助金が出るということで、家賃の軽減に繋がっているみたいなのですね。</p> <p>最初、何棟か建てたら、どんどん続いて行って、かれこれ20世帯は超えているくらい、2~3年の間で進んでいます。補助金というのは、将来的にどうなるかといういろいろな問題がありますので、補助金とは言わないのですが、私は仕事にも業界にも繋がるのですが、安い宅地を提供するというのはやはり一番良いのかなと。安い土地の所にやはり人が移って行っているのかなあと。</p> <p>今、三沢市の方はほとんど分かっていらっしゃると思いますけれども、おいらせ町に住んでいても、生活の場がほとんど三沢の方で、三沢の施設を使っているというのは周知のことだと思うのです。</p> <p>それはやはり安い土地をどうやって提供していただくかということになってくると思います。公共の市なり県なりが開発した宅地というのは全然違います。それでも、他の安い土地の方を求めるといのは背に腹は代えられないというのはもちろんだと思います。</p> <p>公共で開発している土地・宅地というのが、恒久的に安全な状態を保っていて、後々のメンテナンス等を考えますと、民間ではなかなか難しいことになってくると思います。住んでからもそういったものが何年かして排水とかそういった問題が出てきて、それを住民の方たちがまとまってどうやって解決するのかという問題に直面していくのですね。</p>

	<p>三沢市とつく範囲の中で、お金も掛かるし、いろんな部分もあるでしょうけど、何かしら作戦を立てて長期的にそういう場を作ってもらえれば、我々の業界も元気になるのかなあと思っています。</p>
市長	<p>なかなか難しいお話ですが、冒頭にも申し上げましたが、定住化の要因というか条件の一つにはやはり宅地造成も大きなウエイトを占めるのかなとっております。</p> <p>前平の後ろの方にニュータウンを整備しましたが、さきほど申し上げたように完売近いという状況です。当然上下水道が完備されておりますから問題はなく、しかも手頃な値段で求められるというようなこともあって、三沢にも結構住みたいということで、他の自治体から買ってもらったケースがたくさんありました。十数件あったと思います。</p> <p>第2弾のニュータウンを今、模索しております。是非、早急にそれを実施して、いわゆる定住の手助けができればなあと、そんな思いもしております。</p>
政策財政部長	<p>今年度は新しいニュータウンの基本構想を実施いたしまして、来年度基本計画、その次の年に実施計画です。その過程の中で候補地を複数選定しておりまして、価格面・利便性その他もろもろで甲乙つけまして、一番効果的な場所を選定したいと思っております。</p> <p>ただ、民間さんで非常に低価格で売られると行政としては、勝負できません。そこら辺は悩ましいというのが現状です。</p>

⑪ 農村地域の活性化について	
参加者	<p>私、生まれも育ちも三沢市の北部で、実家は農家、今、建築の方をやっておりますが、今、この歳になりまして三沢市の人口減少は県内の中でも良い方なのですと言われていたのですが、私の田舎は、小学校も廃校になりました。非常に歴史のある学校だったので、無くして欲しくはなかったのですが、同世代は、地元を捨てて都会へ憧れて出て行ってしまいました。</p> <p>この辺は市長さんの得意な分野だと思うのですけれども、今、意外と農家で上手くやられている方は相当な収入を得ていると思うのですけれども。やり方次第と言われればそれまでなのですが、私は一旦離れたとか、そういう風にやってみたいと思ってもおいそれと入れる分野じゃないものですから、この辺を、今、非常に有名になった三沢ごぼうや長芋、</p>

	<p>にんにくなどを作っても人に値段を決められて出荷する生産者じゃなくて、高価に販売できるような作戦づくりというのを、市の方に指導していただくような形で、高収入が得られそうな感じがするのですよね。今この時代になってきていますと。この辺を一つ種市市長さんに教えていただきたいなと思います。よろしく願いいたします。</p>
市長	<p>農村の問題ですね。本当に深刻な問題です。そのうちなくなるのではないかという集落も出始めており、これはもう大変だなという気がしております。少子高齢化というようなことで、なかなか農家を継いでくれる人がいない。</p> <p>おっしゃるとおり、三沢の農業というのは結構、ごぼうにしても長芋にしても、あるいはにんにくにしても、健康食品ということで、非常に生産が伸び、消費も伸びているわけです。したがって、あまり値崩れしないということが言えると思っておりますが、それを手品みたいに高価に売る方法があるのかといえば、なかなかそうは行かないと思います。</p> <p>ただ、今、六次産業ということで、ごぼう茶もやっておりますが、これも専門家に言わせれば、身と皮の間に一番栄養があるのだと、そういうものを捨てるのはもったいないということで、ごぼう茶を作っている団体がありますが、経営に乗るような状況であります。</p> <p>そういう六次産業といいますか、加工部門で自分達が値段をきめるようなことも組み合わせながらやっていくというのが、一番安定性があるのかなという気がしますけれども、なかなか一朝一夕にはできないわけです。</p> <p>また、三沢の農家についていえば、県内でも全国でも元気の良い方かなと思っております。しかし、それもいろんな技術がありますから、簡単にはプロになれないと思います。だからこそ、何か指導をとという場面ができて、新規就業については様々な助成をしたりしておりますが、そこを少し拡大して何としても後継者を育てていかなければと思っております。</p>
経済部長	<p>市長が言ったとおりなのですけれども、農業を含めて一次産業全部、三沢の場合は後継者が結構増えており、高所得であります。</p> <p>また、北部地域の方々が自ら北部の方でいろんな活動をして、斗南藩記念観光村などを利用して集客をしようという団体が平成22年から立ち上がっておりますが、国の補助金をもらったのですけれども、今年からは自らの力でやるという事で、北部の人達が立ち上がっております。</p>

	<p>市の方もやる気のある方たちにいろんな補助を出して、特産品開発やいろんな事業を行っておりますので、コマ-シャルに努めて、皆さんが簡単に利用できるような形に進めて行きたいと思ひます。</p>
--	--

⑫ 雇用促進や企業の一部の誘致について	
参加者	<p>私はやはり職業柄、人口減というのは地域経済に与える影響、皆さんご存知かと思ひますけれども、人口減少というのはイコール景気が悪くなる。具体的に言ひますとお客さんが減り、お金が地域に回らないので、非常に恐ろしい現象だと思ひておひます。</p> <p>まず、出生率が1.7%というのは夫婦で1.7%という意味なのですよ。減っているということであれば、やはり対策を練らなければ、先程、お話があったように、空室があつて困る人がいまして、また交通事故で死ぬ方よりも経済を苦しめて自殺する方が多いという現状があれば、人口減少というのは非常に重要な問題だと思ひておひます。</p> <p>やはり、抜本的に人を増やさなければならぬという状況になってきていると思ひますので、もしかしたら大きい政策となれば、先程も話が出たのですが企業誘致という話になると思ひます。例えば、前、金融商品取引法で問題を起こしたライブドアという会社がコールセンターは実は中国にあつて、人件費が安い中国人、日本語がペラペラな方が対応していたと。土地も安い、人件費も安いという所で、ビジネスをやるというのは、東京の企業にとって非常に運営のコストを下げること、判断としては素晴らしいと思ひます。</p> <p>その中で三沢市というのは、空の玄関もありますし、また、土地も空いているのであれば、やはり雇用促進、また繰り返しますけど、企業の一部、全体じゃなくて地方でもやれる部署があつてあるですよ。コールセンター等々。それを持ってくるという大きな政策も必要なのかなと思ひておひます。</p>
経済部長	<p>3・11の時、三沢も被害を受けたのですが、全国の企業には、米軍があり、いち早く立ち上がったと。台風も来ない水はある。排水は大丈夫だという事で、いろいろコマ-シャルをしています。</p> <p>これから世界のトップを走るような産業などの誘致を市長が一生懸命やっておりますので、ご期待いただきたいと思ひます。</p>
市長	<p>結構三沢も誘致企業などで様々働く場所はあり、我々も企業を廻つて</p>

	<p>いろいろ雇用をお願いするのですけれども、三沢の若い人達が応募しないと、言われて帰ってくるのです。だいたい三沢市と市外の職員の割合が、市内が5～6割、市外が4割。職業が自分に合っているかどうかという問題もあると思いますけれども。</p> <p>そういう状況の中ですから、昼の三沢の人口は結構あるのではないかとということもあるので、定住化対策というのが当然必要であるわけです。誘致企業が職員を募集しても来ないらしくて、仕事の内容が分からないのか、賃金が安いのか高いのかもありますけれども、その原因を追究してなんとか良い方向に持っていきたいなと思っています。</p> <p>それから、産業の話がありました。特色ある企業の創出と地域産業の発展を考えておりますので、近いうちに具現化したいと思っています。</p>
--	--

⑬ 婚活事業について	
参加者	<p>小さな政策としては三沢市の商工会の青年部がやっているのですが、婚活パーティーというのが、三沢市はあまり聞かないなど。</p> <p>つい最近、野辺地は応募者を上回る人数になったという話を聞きましたので、商工会青年部が年1回やっているのですけれども、市としても、年何回かやっても良いのではないかなど。やはり、結婚して子供を産むということが、まず第一歩の人口対策かと思っています。</p> <p>ちなみに私もまだ結婚していないのです。これからは私自身が人口を増やすように頑張らなければと思っています。</p>
市長	<p>婚活は結構、テレビなどでもやっていますね。応募者も結構あるのでしょうか。</p>
政策財政部長	<p>婚活ということですが、行政は非常に固くて、民間さんがやるよりは行き届かない部分が多いと思うのですが、職員の方からもいろんな施策とか提案が出てございまして、それはこれからいろいろ議論していただくことになると思います。ただ、実現に向けてどの程度となると、今明言はできない状態でございます。ですから、その際は是非、ご参加いただければと思います。</p>

⑭ 市町村合併について

参加者	<p>先程、お話がありました周辺の地域、特に青森県の中で人口・定住率が増えている町がありますが、その中で三沢市が隣接している所がおいらせ町なのですけれども、そこに定住を決めている人達においらせ町という名前ではなくて、三沢市という住所に名前がなるようなことも将来的には考えていただければ。</p> <p>もしかすると、法律とかいろいろな面倒があると思いますがけれども、そういう所で、ある程度、隣の方たちと上手く話し合いがつけば、学校も今大きくなっている、住居も増えている。そこをなんとか三沢市ということにできれば、非常に良いのではないかと。両者が納得できていけば良いのではないかなと。</p>
市長	<p>これは余談ですけれども、三沢の小・中学校に、他の自治体、例えばおいらせや六戸、あるいは東北町から、90人以上は来ています。このことからどういうことが想定されるかというのは、いろいろあると思いますけれども、やはり、教育行政も評価されているのかなと思います。</p> <p>経済圏はほとんど三沢ですからね。しかし、感情的な問題もあるようです。</p>

⑮ 職場環境・条件の改善やPRについて

参加者	<p>市長さんの方から、三沢の人がなかなか地元の会社に勤めないという話がありましたけれど、私の立場から、例えば職場環境・条件を良くして採用してもらえれば良いと思います。というのは、厚生労働省の方でも、新しい会社を作るとすると助成金もあります。建物について使った場合には助成金が出る制度があります。地域法というのがあります。</p> <p>また、一般の家庭でも、原則として安定所を通して、例えば身体障害者、母子家庭の方、ひとり親の方などを採用しても、金額的に言えば、一年間で普通の方であれば90万が国から会社・事業所へ入ります。</p> <p>女性の方が職場で働いているというのがありましたけれども、その会社に入って出産で休むとなれば、社会保険の方から、出産一時金の他に出産手当金という事で、産前産後98日分、日給の3分の2の割合で出ます。その後、育児休業で満一歳になるまで社会保険が終わった後も育児休業で休んでも安定所の方から従来であれば3月いっぱいまでは50%だったのですが、その時の給料制の67%に手当も出ます。</p>
-----	--

	<p>そのような制度もありますので、もし、皆さんの知っている方々でそういう風な方があれば、お話していただければ。これは安定所にいけばやっておりますので、利用していただければよろしいかと思います。</p>
市 長	<p>そういうのも、いろいろ分からない人もいますからね。</p> <p>あと、雇用条件ね、私ではできませんからね。会社の方針がありますから。誘致企業に対しては市では雇用関係の条件を付して、助成というか、対応をしているのだよね。これは知らない方が多いのかな。この際、お知らせしておいた方が良いのではないかな。</p>
経済部長	<p>具体的な数字は持ち合わせておりませんが、事業拡張した時にはその拡張した分の固定資産税何%、あと三沢市民を雇った場合は一人いくらかとかというような制度がございまして、誘致企業さんを始め、三沢市の商工会を通じて事業主さんには一応コマーシャルはしております。</p> <p>実際に、ある事業所さんも40億位の投資をしていますし、今年から2～3年にかけて同額の今ある工場と同じ位の大きい工場を増築するという所もございまして。</p> <p>ですので、今一つは地元の高校などに、実際はこういう仕事ですよ、業務内容が良く分からずに応募してこないということがありますので、各企業さんにはパンフレットやビデオを作って学校回りとかで、是非、素晴らしい事業所ですよというようなことをコマーシャルしていただくようお願いしている所です。</p>
市 長	<p>問題はその社員・従業員に対しての対応・雇用条件というか、その辺が問題になっているのかなという気がしていますけれどもね。なかなか東京みたいに多額の給料は出せない訳だから。その辺が、若い人達にどう響いているのか、その辺はちょっとつかめないところがありますね。</p>

⑩ 空き家となっている土地の有効利用について	
参加者	<p>先程から不動産あるいは住環境の問題というのが、いろんな先生方からありまして、興味深く聞いておりました。これから雪の季節が近づいていまして、毎年青森県で話題になるのが空き家の問題、雪の被害の問題、相対的には少ないと言っても十分に三沢は雪の多い所だと思います。私達の仕事の中でも実は雪に関する相談というのが結構あります。</p> <p>実は、弁護士というのは皆さんになかなか理解されにくい仕事だと思います。</p>

うのですが、常に裁判をやっているわけではありません。結構、財産管理の仕事というのを裁判所の方から委託を受けたりしてやっております。具体的には、破産管財人ですとか、高齢者の財産管理成年後見人、あるいは不在者の方の財産管理、あるいは相続人がいらっしゃらない方の財産管理、相続財産管理人といます。

実は、財産は管理をしないと当然荒れていくということです。例えば、どんな町に住みたいかと言ったら、やっぱり綺麗なまちに住みたい。なんとなく建物が新しくておしゃれな感じのまちに住みたいというのは、若い人、お年を召した方共通、特に若い人はその傾向が強いと思います。

ちょっと想像していただきたいのですけれど、たとえばその良いまち・良い住宅地があるけれども、ぽつんとひとつだけその中に随分前にお亡くなりになってどうも相続人もいらっしゃらないらしいというような家があったら、その一軒だけで住環境っていうのは下がってしまう。その土地自体、本来であれば土地自体が素晴らしいのだけれどという土地もあるかと思うのですね。

そういった問題、実は今の法律は非常に所有権が強く保護されているわけでありまして、一筋縄ではいかないのですけれども、なんとか不動産を有効活用する。税金を使うというよりはむしろ不動産会社さんですとか、時には裁判所を巻き込んで適切に第二の活用を考えていくというようなことが出来なものかなと、私は常日頃から考えておりまして。そういうことによって、税金を使う話じゃなくて、民間企業さんの仕事も増える、そこの住環境も良くなる、そのお手伝いを弁護士なり裁判所がするというような仕組みをどうにかして作っていけないものかと。

私の生まれ育った所の近くにもやはり空き家というものがあって、それが一つでもあると何となく暗い気持ちになります。この分野というのは、まだほとんど手がついていない。

それ位、日本の所有権というのは厳格に守られてきた。誰の所有者か分からないけれど、とにかくその建物は使われていないというのが現状ではあるのですが、やはり、所有権を守るというよりも、土地を有効活用していく、不動産を有効活用していくということを考えていくようなことができれば良いなど、仕事も含めて、あるいは日常生活も含めて考えている所です。何かご相談がありましたらいただければと思いますし、逆にそういう機会があったら呼んでいただいて、私もちょっとお力添えさせていただきたいなと思っていますところです。

⑰ 手厚い教育環境整備について

<p>参加者</p>	<p>皆様のご意見、非常に私も日々実感していることでした。また、県内でもやはり特色のある市でありますし、先程あったように、出たり入ったりの方が多い中で、やはり定住を心から望んでいる方も結構多く、三沢という規模が丁度生活に良かったり、空の玄関がすごく身近なので、交通の便も開かれているということ。</p> <p>ただ、小さいうちは家族単位で移動しなければいけないけれど、子供がある程度大きくなりますと、やはり、最後の決め手になるのが教育ということで、都市部に行ってそういう教育の場に子供を置きたいということで、離れるという方もいらっしゃいます。あと、本当は家族みんながいるのが良いけど、お父さんは単身赴任になってもそれでもここに住みたいというようなお考えの方もいらっしゃいます。</p> <p>少子化が進むと、学校でも教員の数が子供の数に合わせて縮小されてしまったり、部活が存続出来なくなってしまう、というようなこともあります。学業だけじゃなく、いろんな面で不自由があると、どこに行ったらいいのかっていうようなこともあります。子供達に対するお金も掛かりますし、いろんなことがあると思うのですが、将来に繋がる子育てで人材を育てるということでもあるので、単純に人を減らしてしまうということではなく、そこは手厚くいろんなことを考える余地があるのではないかなと思います。そうする事によって、安心して、お父さんはしばらく仕事で離れるけど将来は老後を三沢で過ごしたいしということで、居を構えたいと思っている方は結構多くいらっしゃいますし、多く聞かれます。</p> <p>それから、やはり三沢の施設というのは三沢の住民に賄われているところもありますので、そういうものが周辺の人達に活用されるのは非常に良いことですが、でも、住む場所と利用している人達が一体化していくことは非常にこれからもっと大きく発展していくようなことに繋がるのではないかなと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>大変よく分かります。私の方からという訳ではないけど、結構三沢でも努力はしているつもりですがね。</p>
<p>参加者</p>	<p>バランスのいい教育をしていただいて、それは非常に良いですし、市長さんの方からお話があったのですが、おいらせ町の方から三沢の市内の学校に来る方も多という事で、実際に文化部でも運動部でも活躍して</p>

	<p>いる部もとても多いですし、とにかく特色があったり魅力があったり、いろいろな選択肢があるような教育の場であればより良いのではないかと思います。</p>
経済部長	<p>私は、去年の3月まで市立病院におりまして、医師の確保、看護師の確保ということで、お医者さんを置くためには、住環境と教育環境が大事です。今、企業誘致の担当をしております、そちらも全く同じです。</p> <p>三沢に住んでいても、東大に入れるという風な教育環境、それから、素晴らしい住環境、また先にお話がありましたけど、女性が働きやすい場所、女性が一回離れても、もう一回リハビリして働けるような。要するに、女性の方が三沢に住みたい、ここで子育てしたいと、そのようなことが非常に大切だと思っております。多岐にわたるので、一言では言えないのですが、みんなそういう考えで、市長を筆頭に市政に取り組んでいる最中ですのでご協力をよろしくお願いいたします。</p>
市長	<p>いろいろ条件がありますからね。最大限に努力していかなければと思います。</p>

⑱ 超長期的な都市計画づくりについて	
参加者	<p>建築の仕事をしている意味で最後に一つお願いしたいのですが、私も、私としては中・長期どころではなくて、超・長期的な相当遠くに、都市整備なり都市計画を持って行って、すぐできるようなものではないけれども、三沢市として、100年後とか200年後ぐらいに役に立つような何かをできないのかなと思っております。</p> <p>金額的なものやいろんなことがあると思いますが、別に私が生きていく間に実現する必要は全くなくて、私の孫かひ孫のあたりで、昔の人はこういうものを作ってくれたのだなっていうようなものを、一つ何かやっていただきたいなという風に思っていました。これだ！というのが言えないところが才能の無さですが、実は歴史ものが好きで、いろんなものを読んでいます。何百年後にこういう風になったという時に、その最初にやり出した人がどの様な形でやったのか考えると、わくわくするのですが、どなたか一つ考えていただいて、これを、すぐ出来なくても良いので、こういうものに向かってやっているのだというものを、一つなんとかお願いしたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
市長	<p>大きな夢を。夢は夢としてあっても良いと思いますね。</p>

5. 市長所感

いろんなお話をしているうちに、時間の経つのが早いなというのが第一印象であります。人口減少、あるいは少子高齢化、そういう課題が大きく三沢だけでなく、今日本全体の大きな課題としてのしかかっている訳であります。

我々は人口減少の中では、やはり産み育てる環境というものをまずどうしてもやらなければならない。その前にちゃんとした仕事があって、安心して暮らせる、そういう環境がもちろんなければならない訳であります。

そういう中で今までもやってきたつもりでありますし、これは終わることなくどんどん追究していかなければならない課題だろうなと思っております。

お話があったように、人口減少、生まれることだけ考えるのではなくて、よそからきてもらうことなども含めて、そういう点に目が向くわけではありますが、やはり病気で亡くなるということも人口減少の大きな課題のひとつだなあと改めて思いました。もちろん、短命県ということで、若くしてがんで亡くなる人もたくさんあるようでありまして、これも大きく青森県の短命県というのを引っ張っているのかなという気がしています。

色々な面から考えていく必要があるなと思っております。一つには、こども館というのを計画しています。これは若い夫婦が子育ての段階で様々相談する相手がいなくて大変困っている。それがお互い集まって協議やコミュニケーションを図ることによって、安らぎを得たり、苦労話をして子育ての方向性をみんなで立ち返りながらやっていくというような総合的なこども館というのを計画しております。これが、少しでもそういう環境の中で役立つとすれば、非常にありがたいなと思います。

これに、県の方でもそういう着眼点に賛同していただいて、応援してくれるようなお話しがありますので、これは、近々実現するのではないかなと私は思っております。そういう点も一つの方策として役立てて、少しでも人口減少を食い止めたいという思いを持っております。

同時に定住化については、いろんな条件があると思いますが、やはり、お話しを聞いておりますと、土地の問題が一番大きいようであります。何としても早急に第2弾のニュータウンを整備して提供し、まずそこに住んでもらいたい。それからまた、福祉の問題とか、学校行政、インフルエンザの問題などもあると思います。

聞くところによると、土地が安くて行ったが、結構水道代が高くて困ったなどの苦情が出ておるようでありまして、その辺も前もって三沢の実態というものをどんどん PR して住みやすいまちであるということをみなさんにお知らせして、そして住んでもらうよう誘導をしていく必要があるなと思っております。

このように、いろいろ方策があると思いますが、やはり、仮に一生懸命に

やっても、なかなかそれが理解されていないというのが非常に問題だなと思います。

実は皆さんご承知の様に、少し前に 20 代～40 代の主婦の方から「主婦が幸せに暮らせる街ランキング」で三沢が全国 12 位になったのです。東北・北海道ではチャンピオンになったわけであります。どういうことが評価されたかは別としても、そういう一部の方々ではありますけど、住みよいまちだと評価をいただいたというのは非常にありがたいと思っております。その辺も十分に追及しながら課題・内容を精査して何が良かったのか、何が要求されるのか、総合的に考えながらやっていく必要があるなど、そんな思いをいたしました。

もちろん、若い人が集まって婚活の問題もございしますが、三沢でも全国に誇れるものがたくさんありますので、そういう点も若い人達に PR しながら、活動が出来ればまた定住化の手助けになるのかなど、そんな思いもしております。

専門家の皆さんからいろいろご提言を賜りました。これを我々持ち帰って、精査しながら、今後何でもできるということではないのですが、今後の市政運営に寄与して参りたいと思っております。これからもまた、たくさんの皆さんのご意見やご指導、またご協力をお願いすることになりますので、よろしくお願い申し上げます。お礼の言葉に代えたいと思います。ありがとうございました。

6. 閉 会